



武蔵野

学校だより NO. 12
平成30年3月号
昭島市立武蔵野小学校
校長 岡部 操

平成29年度のまとめと次年度に向けて

校長 岡部 操

一雨ごとに寒さもゆるみ、暖かな春の日差しを感じるようになってまいりました。心配されたインフルエンザの流行は、ようやく落ち着き一安心しています。まだ、寒暖の差もあるので体調管理には十分ご注意ください。

さて、卒業間近なこの時期、私は給食の時間に6年生を校長室に招いて会食をしてきました。話題の中心はどんな中学生になりたいかと、将来に対する夢や希望についてです。しっかりとした語りからは、武蔵野小学校での確かな学びを確信したものです。また、一方では、心配や不安が交錯する児童もいます。そこで、各学年とも学習・生活面でのまとめをしっかりと行い、進級・進学に備えるようにしたいと考えます。

ところで、教師や大人が心がけねばならないことの一つに、人権を尊重するということがあります。人権擁護推進審議会答申によると、「人権尊重の理念を、自分の人権のみならず他人の人権についても正しく理解し、その権利の行使に伴う責任を自覚して、人権を相互に尊重しあうこと、すなわち、人権の共存の考え方ととらえるものである。」とあります。しかし、分かりにくい表現でもあります。そこで、子供にも分かりやすい言葉で表現するならば、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」ということができます。

人権侵害が起こる背景には、同一性、均一性を重視しがちな傾向があったり、因習的な考えにとらわれていたりといったことがあげられます。そして何より大事なことは、我々大人の人権にかかわる知識が、行動と結びついているかということです。

学校としては、教職員が一人一人の児童を大切にするために、点検項目を示しチェックしたり、研修会を設定したりしてきました。指導が画一的であったり、押しつけになっていたりしないか。その場の感情で指導に当たることはないか。言語環境を整えているか。掲示物の内容に配慮したり、作品を大切に扱ったりしているか。これらは当たり前のことですが、あらためて確認することで児童や保護者の皆様から信頼をお寄せいただけるよう努力してきました。

また、本校では教育活動について、アンケート等で評価をいただく場を設定してまいりました。毎回保護者の皆様からご回答をいただいたことに感謝いたします。ご指摘いただいた点は真摯に受け止め、来年度に向けてできるところから改善していくようにいたします。

この一年間、保護者の皆様や地域関係団体、教育委員会には、武蔵野小学校へのご理解とご協力、ご支援をいただきましたことに大変感謝いたします。来年度も一人一人の児童を大切に活動していきます。どうぞよろしくお願いいたします。